

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 45 巻 1 号

発行所 高槻市大学町 2 ノ 7
〒569- 大阪医科大学仁泉会
8686 電話 072-682-6166

FAX 072-682-6636

発行者 河野 公一
6,080 部URL <http://www.jinsenkai.net/>

新年のご挨拶

大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一

新年明けましておめでとうございます。

会員諸先生には、ご健勝にて穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より仁泉会の活動につきまして、種々ご助力ご助言を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、仁泉会は一般社団法人大阪医科大学仁泉会として新定款の下、新たな歩みを始めましたが、今年は公益目的である、学術振興および研究助成事業、良医育成のための医学部学生に対する奨学金貸与事業、また一般事業である、会員諸先生の福利厚生への支援や母校の発展向上に寄与する各種事業など、これまでも増して推進してまいります。

昨年 7 月の理事会にて、内田實（学 12 期）、安藤嗣彦（学 20 期）両副理事長を中心として新役員の会務分掌を明確にし、総会でお認めいただきました事業計画を円滑に進めるべく組織強化に努めてまいりました。

そのような中、昨年 9 月に西部会（西日本私立医科大学同窓会連絡会）をつつがなく主催することが出来、その後 11 月の全国私立医科大学同窓会連絡会にて報告することが出来ましたのも、ひとえに会員諸先生のご支援ご助力の賜物と感謝いたしております。

今年 3 月には、関東地区仁泉会総会を計画しており、また今後は同様に数県にまたがる地区総会を行い、各支部の更なる活性化と、会員相互の親睦と情報共有をお願いしてまいります。

各期クラス会や支部会開催の節には本部事務局にまでご一報いただければ幸いです。

今年も引き続き、会員各位のご支援、ご助力をお願い申し上げますとともに、会員並びにご家族の皆様がご健勝でご活躍されることを心より祈念申し上げます。

平成 26 年 1 月号 目 次

| | | |
|--------------------------------|------------------------------|-----|
| 1. 新年のご挨拶 | 大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一 | 1p |
| 2. 新年挨拶 | | |
| 新年のごあいさつ | —大阪医科大学創立 90 周年記念事業へのご支援に感謝— | |
| | 大阪医科大学理事長 植木 實 | 3p |
| 百尺竿頭に一步を進む | 大阪医科大学学長 竹中 洋 | 5p |
| 新春のご挨拶 | 静岡県支部長 吹田浩之 | 6p |
| スイスの巨峰・マッターホルン | 福井県支部長 西野慎吾 | 6p |
| 新年のご挨拶 | 愛知県支部長 神谷鋼彦 | 7p |
| 年頭所感 | 大阪府支部連合会会長 佐藤公彦 | 8p |
| 学歌「はた崑崙か、ゴビの原…」 | 兵庫県支部長 渡辺信治 | 9p |
| 新春酔考 | 尼崎・伊丹支部長 大隈義彦 | 10p |
| 新年を迎えて | 神戸支部長 安藤嗣彦 | 10p |
| オリンピックイヤーにむけて地域医療向上に会員の活躍を期待する | | |
| | 川西支部長 土肥恒夫 | 11p |
| 新年のご挨拶 | 奈良県支部長 西浦孝彦 | 12p |
| 新年のご挨拶 | 和歌山県支部長 古田浩太郎 | 12p |
| 新年の御挨拶 | 岡山県支部長 水島圭一 | 13p |
| 年頭のご挨拶 | 学 13 期 藤本 昭 | 13p |
| 卒後 30 年に思う | 学 33 期評議員 酒井泰彦 | 14p |
| 3. 支部だより | | |
| 報告 京都仁泉会学術講演会 | 学 37 期 寺村和久 | 15p |
| 4. クラス会だより | | |
| 平成 25 年度 41 会 (学 15 期) 同窓会 | 学 15 期 勘田紘一 | 17p |
| 5. リレーエッセイ | | |
| 漢方薬と出会って | 学 28 期 霜野良一 | 18p |
| 6. 会員近況 | 学 22 期 清水鴻一郎 | 19p |
| 7. 新聞・冊子切り抜き | | |
| 竹中 洋先生 (学 23 期) | | 20p |
| 川崎康寛先生 (学 35 期) | | 21p |
| 8. 仁泉ひろば | | |
| 先達の女医 (2) | 学 4 期 西村 保 | 22p |
| 9. 本部だより | | |
| お詫び | | 24p |
| 10. 編集後記 | | 24p |



迎春 2014 年



新年のごあいさつ

— 大阪医科大学創立 90 周年 記念事業へのご支援に感謝 —

学校法人大阪医科大学
理事長 植木 實

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を新たなお気持ちでお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年を振り返りますと、新しい政権がアベノミクスと呼ばれる斬新な景気対策を次々に打ち出したことから、一昨年まで長期間続いたデフレスパイラル状態が収まり、昨年末には明確な円安・株高を示し、インフレ基調になりました。一般的にインフレをデフレに変えることはあまり難しくないとはいわれますが、デフレをインフレに短期間で変えた例は世界的にも類を見ない施策といわれます。しかし、安倍首相は経済政策において素晴らしい能力を発揮し、また外交にも力を入れ、国会運営においては全力でぶれない姿勢で臨んでおり、強い日本を取り戻す方向へ努力されている姿は印象的で、個人的に共感を覚えます。

扱、このような日本経済が好転する中で、大阪医科大学は教職員の努力と仁泉会諸氏のご協力のお蔭で経営力は年々

向上し、財務状態は安定化しつつあります。これにより、念願の病院の新築を含め、諸事業に踏み出せる環境が醸成されてきたことに、心から感謝申し上げます。

今年の本学の年賀交歓会では、年頭の挨拶で創立 90 周年及び 100 周年を迎えるに際し、「最優の医療系大学・中等学園を目指した長期目標」ヒエラルキー【図 1】をお示しし、皆さんにご確認とご批判を仰いだところです。これは、理事長に就任して以来、各年度で実践してきたスローガンを積み重ね、継承しつつ、大学の将来を見据えた経営方針をまとめたものです。主な課題を拾いますと、ベースとなる経営基盤の強化では「人・物・金・仕組の充実」、次に最良の医科大学に向けては「教育力、研究力及び医療力の向上・強化」、特に「看護学部と健康科学クリニックの成長・充実」の諸課題に取り組んだことであります。本学の大学力の強靱化については、まず大切なことは教職員各自が自らの学習による能力向上、即ち「Staff self-development (SSD: 自ら学習し、考え、実行する) の実践」であり、同時に人間性の成長である「インテグリティ (誠実性・真摯性) の涵養」を期待しています。このように各人の能力と人間性が成長することは、本学が強靱化し、ひいては University social responsibility (USR: 大学の社会的責任) を具備することになると考えます。加えて、グローバル人材及びプロ

最優の医療系大学・中等学園を目指した長期目標ヒエラルキー



※学校法人経営の要点は「安定性・継続性」、「公共性・信頼性」、「自主性・自律性」であり、その実現に向けたガバナンスが重要

【図 1】

フェッショナル職員の育成に全力を挙げて取り組むことも急務です。

以上のようなことから、今年は『連携と成長』に向けた重要な年として「継続は力なり」をスローガンに掲げており、来る 4 月には高槻高等学校との法人合併、大学院看護学研究科の設置及び新保育所の完成、8 月には中央手術棟の建築に着手するとともに、近い将来の大阪薬科大学との法人合併の実現に向けて推進し、確固たる医療系大学・学園を目指します。そして、新病院の完成により、本法人は北摂地域の Center of community (COC: 地域の教育・医療の中核) の地位を確立し、創立 100 周年を迎えることとなります。

このようなヒエラルキーに含まれる諸事業・課題の実践、就中、創立 90 周年記念事業としての中央手術棟を嚆矢とする新病院建築並びに大学の安定化を図る基金設置には、仁泉会諸氏に多大のご支援、ご指導を頂戴しながら進めております。創立 90 周年を経て 100 周年を迎える時期には、本邦でも有数の医療系大学・中等学園に発展するよう、教職員の全精力を傾注する決意であります。

以上のような近況と方向性をご報告し、仁泉会諸氏に御礼申し上げるとともに、皆様の本年の益々のご健康とご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶と致します。

平成 26 年 1 月吉日

百尺竿頭に一步を進む

大阪医科大学学長 竹中 洋

仁泉会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成 26 年が希望に満ち、豊かな社会環境を得られる年であることを祈念致します。

さて、平成 25 年の大阪医科大学は大きな企画を実現致しました。3 月に大学基準協会の受審に応募を致しました。前回は平成 18 年に受審をしており、2 度目になります。ご承知の様に大学教育改革は国を挙げての方向性であり、質の担保は大きな課題であります。また前回と異なり看護学部が併設され医療系複合大学として自己点検自己評価を行い、評価に耐えうる必要が在ります。12 月には基準に適合しているとの大学評価結果を手にすることが出来ました。

次いで 5 月に看護学部大学院研究科の設置申請を行いました。最終的には夏休みを返上して看護学部の WG は書類を完成させました。10 月末には看護系大学では大変難しいと言われている博士課

程前期と後期の同時認可を得ることが出来ました。現在、入試準備の対応に追われています。

この二つの事業を経験して大阪医科大学は大きな糧を得たと考えています。大学基準協会の示された努力課題や改善勧告は真摯に受け止め組織的対応をして参ります。また、看護学部の新研究科が立ち上げられたことは、未曾有の少子超高齢社会における医療提供への研究課題を広げることになります。

一方、医学教育改革は待ったなしで進めなければなりません。今年 3 月までに国際認証基準が定められる予定です。参加型臨床実習の実施は不可避ですし、共用試験の成績公開も秒読みに入っています。文科省からの情報発信は医学教育学会が受け皿となり、全国医学部長病院長会議が実施・検証を行う流れは着実に速度を速めています。平成 26 年も引き続き皆様のご理解とご尽力をお願いすることが続くと思います。21 世紀の理想的な医学教育を実現することを掲げ、努力を惜しまず前進して参ります。「百尺竿頭に一步を進む」を目標と致します。

謹 賀 新 年

お健やかに初春をお迎えのこととぞんじます
本年もなにとぞよろしくお願いいたします

平成 26 年元旦

大阪医科大学仁泉会
理事・監事・参与・評議員・支部長一同

新春のご挨拶

静岡県支部長
吹田浩之（学 36 期）

新年、おめでとうございます。遠く離れた静岡市よりお祝いを申し上げます。昨年は静岡県にとって、とても素晴らしい年になりました。県の象徴である富士山が世界文化遺産に認定されました。これも一重に仁泉会の皆様のご支援のおかげでございます。山梨県の会員の皆様とともに喜びを分かち合いたいと思います。

静岡市から見る富士山は右斜面に宝永山と宝永火口が見えて左右対称を崩していますが、山頂は最高峰である剣ヶ峰が中央に見えるために左右対称です。ビューポイントにより富士山はいろいろな顔を持っていて、それぞれに特徴があります。私は、山梨県の山中湖から富士山を見ると少し形がおかしく思えます。どこのエリアの人にとっても、我が富士山が一番です。仁泉会の皆様はおそらく新幹線に乗って富士川付近より富士山を見ることが多いと思います。これは定番ですが、私は東海道五十三次に描かれた、薩埵峠から見る富士山が最も美しいと思います。薩埵峠を登らずとも東名高速を静岡市から富士市に向かい、薩埵トンネルを出た瞬間に美しい富士山が現れます。

静岡市は今年に徳川家康公顕彰四百年を迎えます。それを記念して静岡マラソンというフルマラソンが 3 月 2 日に開催されます。以前は家康公の遺骨も納められていた久能山東照宮も平成 22 年に国宝に指定されました。残念だったのは浜松市のゆるキャラの出世大名家康くんは

グランプリが取れずに出家してしまいました。そして昨年の静岡県支部会は 7 月 7 日に徳川慶喜公のお屋敷だった料亭、浮月楼で開催いたしました。報告がまだで誠に申し訳ございません。

仁泉会の皆様の幸せを富士山とともに祈念しつつ、ぜひ静岡に観光に来て頂きたいと思います。お茶と山葵が美味しく暖かくてよい所です。

スイスの巨峰・マッターホルン

福井県支部長
西野慎吾（学 11 期）

仁泉会の皆さん、明けましてお目出度うございます。今年も良い年でありますよう祈っています。

私事ですが、頸椎黄色靭帯骨化症の手術を機会に！息子に診療所を任せました。以来、約 1 年唯一の趣味である旅行に行っていましたが何時までも旅行でもありませんので、三国競艇場の医務室勤務の前医が体調を理由に辞めましたので、私が後釜に座りました。

レースの無い時は、福井県予防医学協会の依頼を受け、検診業務に走り回っています。早い物で息子と交代してから二十年が経ちました。

昨年（平成 25 年 9 月）三国競艇場の客用の建物の改修工事の為、レースが開催されませんでしたので、休みになりました。

この間、長女夫婦の居住するスイスへ約一週間、高齢（81 歳）の為、恐らく最後となるであろう海外旅行に出掛けま



した。

成田から 12 時間のフライトで、チューリッヒに到着。娘夫婦の出迎えを受けました。翌日はチューリッヒから 1 時間のフライトでチェコの町を見学したり、ナイトクルーズ（食事付き）を楽しみました。翌日はチューリッヒに帰り、次の日車や電車で約 4 時間半で Zermatt に到着、町を見学し、翌日ケーブルカーやロープウェイに二回乗り継いで、Matterhorn glacir paradise (3838 ㍎)（別名 Klein Matterhorn）に到着し、今回の旅行のハイライトである、山肌に白銀の雪を纏った、Matterhorn (4478 ㍎) を眼前に眺めることが出来ました。

当日の山頂は寒さを予想していましたが、春の様な暖かい状態で、気持ちの良い時を過ごすと同時に山を愛し、登山をする人の気持ちに触れる事が出来ました。

下山後も、日本に帰ってからも山の上の清々しい気持ちが何時までも胸から消えない、楽しい旅行でした。

新年のご挨拶

愛知県支部長

神谷鋼彦（学 14 期）

仁泉会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく願い申し上げます。日頃は仁泉会本部よりの温かい御指導と御高配に感謝申し上げます。

仁泉会は平成 25 年度から一般社団法人とし新たに発足し新理事長に河野公一先生が就任されました。仁泉会の運営に存分に力を発揮されることを期待し、われわれ会員を御指導賜りますようお願い申し上げます。

さて愛知県支部はこの 1 年、支部の事業である総会と「愛知県仁泉会だより」の発行を行い特に変化はありませんでしたが、今年新しい活動を行うことをご報告いたします。平成 25 年度の仁泉会総会の懇親会の席で、岐阜県支部長小木曾和夫先生（学 25 期）、三重県支部長子日光雄先生（学 25 期）にお会いし、早速三支部の交流会を行うことに話がまとまりました。10 月に名古屋で打ち合わせを行い、交流会の名称を「新三水会」とし、年 1 回開催する。第 1 回は愛知県支部が幹事となり、平成 27 年 3 月に行うことを決めました。そして今年度の愛知県支部の総会に各支部長先生を御来賓としてお招きすることにしました。「三水会」は小生が在学中故小島秋名誉教授を会長に三県出身の大学勤務の医師と学生が親睦と交流を図る会として活動していて、私も参加したことを懐かしく思い出します。三水とは木曾川、長良川、揖斐川にちなんで付けられた名称です。今後三支部が密接に連携して交流を深める

ことにより、各支部の活動も活性化するものと期待いたします。

2013 年は国の内外で明暗ともに話題の多い年でした。2014 年が仁泉会が駿馬のように躍動し、会員各位には幸せな年となるよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

大阪府支部連合会会長
佐藤公彦 (学 12 期)

平成 26 年 (2014) の新春に当り、謹んでお慶びを申し上げますと共に、所感の一端を申し述べさせていただきます。

昨年を顧ますと、5 月の総会 (神戸市) で、先ず、河野公一名誉教授 (学 21 期) が本会理事長にご就任頂いた事に言祝ぎたく思います。また、懸案でありました定款変更が総会で承認されました事から、支部の区割とか合従連衡が可能になるような点でも歴史的事象だったと思われれます。

所で、本会の組織率 (会費納入率) アップを図る上で、河野先生は知名度と御人柄とを合わせた所謂、会員にとりましては顔の見える先生と云う事で、また、奥様が学 25 期の同窓ですから、ご家庭力にも優れている先生と云う事で、会務を明るく牽引される事と期待しております。

前任者の若林先生は理事長代行から理事長の間、副理事長を河野先生お 1 人に絞って会務を運営されていた事で、河野先生の存在感が大きくなって参りました。そして、昨年 3 月の本学ご退職以降、(財) 摂津市保健センター理事長にご就任され、摂津支部会員となられた事は、大阪府連としても有難く、竹に節が付いたような

存在で感謝致しております。

大阪医大医師会長としては、前任者の植木先生 (学 12 期、学校法人理事長) 以降、10 数年間に互り務められ、対外的には、労働安全衛生法 93 条 4 項の労働衛生専門官 (厚労大臣の任命) を現在迄、20 年余り務められておられます。当該専門官は大阪労働局管内で只 1 人の存在で、監督官とか産業医を指導する立場にあります。前任者は本会誌でもお馴染みで、ご健筆を揮われている原 一郎先生 (高 16 期、関西医大名誉教授) で、原先生も昭和 47 年から 20 年間務められた後、河野先生に厚労大臣任命の下に禅譲なさいました。

会員の要望の多くは子孫の入学に関する件ですが、河野先生は教授経験者として、支部活動等でご参集頂けますと、本学の入試・選抜等に関する実情をお話頂けるものかと思われれます。

また、全国 29 私立医大では、全てが東京で受験出来る仕組にありますので、本学としても東京に力を入れているようですが、本会としても東京を中心とした関東ブロックの集まりを模索し、活性化を図ることで組織率アップに繋ぎたいと思われています。

大阪府連でも 1 部では、2 次医療圏を単位とした支部も考えられますが、議論を積み重ねる段階には至っておりません。最近、全国の医大同窓会で縷々情報を集めました所、旧設医大の同窓会組織率は平均 70% のようでした。従って、大阪府連でも 20 ポイント・アップを目指して頑張り抜きたい覚悟であります。新年早々から恐縮ですが、何卒、宜敷くご支援ご協力の程をお願い申し上げます。

学歌「はた崑崙か ゴビの原…」

兵庫県支部長

学 9 期 渡辺信治

謹賀新年

今年も「SW ヴォーリス」のペンネームで頑張ります。宜しく御願ひ致します。

旧年暮れに届いた仁泉会 NW の p12 に学 9 期の「珊瑚会」の報告が掲載されていました。同会長の大隈先生の名文で、その中程に「SW 君の話は面白く、爆笑の連発でした」とあります。

これを読んで大喜びの私は、休肝日にも関わらず

「祝杯を挙げねば」と、三宮へ。学歌「若き日を惜しみ……」とばかり、下記 1～6 を巡り午前様に

- 1：中国 飲み始めた店の名が「崑崙」。阪急三宮駅の西口脇のビルの 7 階です。飲む程に学歌の「はた崑崙か……」と調子づいて「次！」と
- 2：仙台 伊達正宗御用達の仙台の銘酒が「勝山」。私は「勝山」なる名の居酒屋へ。私の中高の恩師が「勝山先生」で、故・鴉田先生（高 17）と中学時代に親友だった遠藤周作の随筆の中に勝山先生の名が出てきます。
- 3：飛騨高山 勝山先生が馴染みにされていた、高山出身のママの店「花里」は高島忠夫と親類で、夫婦で飲みに来ます。
- 4：北海道 店の名が「足寄」。歌手の松山千春の出身の町の名で、神戸随一の名士の集うバーです。故・山口幸明先生（高 17）や、久保田先生（学 7）田中先生（学 8）宮本先生

（学 8）。時には故・橋原理事長（学 8）。又元母校教授の、麻田、石神両神農教授も見えてました。

- 5：イタリヤ 細川大名の一族の店へ。学習院大学卒、イタリヤに留学、葡萄酒会社に勤務、遂に同酒に嵌った御主人で、店の名もズバリ「葡萄酒屋」です。
- 6：チベット 蹴球界では超有名な店で、故・原先生（学 6）が大変な肩入れをされていました。チベットの方の店で、その名は「グランミカエラ」。あのペレ、マラドーナ、B パウアー等が飲みに来ました。

以上の 6 軒の店々を巡り「はた崑崙か……」でした。

——さて私のカウントダウンは——

クラシック・ライブ・カフェ・「Pia Julien」で「華やかに」でした。この店は故・出馬先生（学 7）に教えて戴いた店で、私は先生の形見と思っている店です。飲みながら生演奏を聴く店です。西本先生（学 5）が此の店で、私の「知られざる実情」を見かけられ「尊敬したな！モウ」と書いて戴いた店です。

——以上——

追記 1・新年 8 月、神戸元町商店街の「まちづくり会館」でヴォーリス展を開催します。神戸市立の会館です。

追記 2・京都支部では、毎夏に音楽会を開催されています。之を見習い兵庫支部でも開催したいと企画中です。支部の活性化に繋がる事を期待しています。

新春酔考

尼崎・伊丹支部長
大隈義彦（学 9 期）

謹賀新年

「押して駄目なら引いてみな」アベノミクスで日本経済は見事逆転をしました。

本年は、昨年正月の円高・デフレは何だったのだろうと思わせるような明るい変貌です。

発想の転換によって物事は、これ程コペルニクス的变化をとげるものでしょうか。強い、深い感銘を受けます。

身の周りの日常生活においても、この様な事が沢山あり、にっちもさっちも行かぬことがあります。

私達は、学問や技術を絶えず究めていかねばなりません、それと同時にこの様な自由な発想が出来る、柔軟な脳味噌を作る努力をしていかねばならないと思う新春です。新春酔考。

新年を迎えて

神戸支部長
安藤嗣彦（学 20 期）

新年あけましておめでとうございます。本年も、仁泉会員の皆様並びにご家族の健康とご多幸を祈年いたします。

さて、私はこの 7 月 18 日で古希を迎えます。しかし、現在の高齢化社会では、70 歳はほんの通過点にしかすぎません。

先生方は、‘船頭さん’という童謡をご存知と思います。‘村の渡しの船頭さ

んは、今年六十のおじいさん、年はとってもお船をこぐ時は――’で始まる歌詞は、1941 年に作詞、作曲され、一部は第二次大戦時に戦意高揚のために書き換えられたようです。それは別として。その頃の 60 歳位の男性のイメージは、腰の曲がったおじいちゃんとの印象で、実際その頃の平均寿命も 70 歳くらいであったようです。現在は、皆様ご存知のように、男性も女性も寿命は世界トップクラスです。私が嘱託医をしている老人ホームでも 90 歳後半の方ばかりで、最高齢は 104 歳です。

話は変わりますが、長寿社会にも関わらず、仁泉会員の会員数はほぼ横ばいです。このことは、医師 特に男性医師の寿命があまり伸びてないのではないかと考えられます。実際、同じ戦前設立の関西医大（前身は女子医専で、同窓会員は女子がかなり多い）では会員数は増加しています。女性と男性の平均寿命のちがいを如実にあらわしています。医師は職業柄、激務に加え、定年を迎えてもリタイアもできず、ストレスも多いのも一因かと思われれます。

さて、ほけの無い、健康な長寿を迎えられるよう自分なりの工夫をされてる先生方も多いと思います。私なりの対処法をご披露致します。第一は、体内時計を狂わさないよう起床、食事、就寝時間等（職業柄難しいとは思いますが）を一定にする。次にストレスの発散です。これには、趣味を持つことです。スポーツであっても絵画、旅行であっても結構です。そして、その趣味ができるよう、仕事にも、家庭でも全力を尽くす。私の場合、趣味は、テニス（週 2 回は必ず）、野球

(医師会野球部の長老? シーズン中は週 1 回) に海釣り (オールナイトで波止釣り、最近仲間の高齢化で休眠中) に加え、60 歳後半からはゴルフも始めましたが、上達せず、改めてゴルフの奥深さを思い知らされるこの頃です

最後に、医師、特に開業医である限りは、生涯にわたり学習することが必要です。最近、患者さんのみならず家族の方もネットで調べて、専門的な質問をされてきます。自分の分野外になると、戸惑うことも少なくありません。専門以外の知識を、私は主に医事新報 (週に一冊配達される) や医師会雑誌特集号、エーザイのクリニシアン、杏林のドクター・サロン等より得ています。医師会主催の生涯教育も、大いに役立っています。幸いにも、私の属する医師会では、午後 8 時より始まり、サンドイッチも出ますので非常に出席しやすい勉強会となっています。私事で恐縮ですが、昨年出席率一位で会長表彰されました。

今年も昨年のように継続できる事を願っています。

オリンピックイヤーにむけて 地域医療向上に 会員の活躍を期待する

川西支部長
土肥恒夫 (学 28 期)

新年おめでとうございます。仁泉会の皆様におかれましてはますますご清栄のことと存じあげます。

昨年を振り返りますとなんといっても

9 月 7 日、ブエノスアイレスで「お。も。て。な。し。」とアピールした東京がオリンピック開催に決まったことでしょう。夏期五輪の複数回開催は、1964 年東京とアテネ、ロンドン、ロサンゼルス、パリに次ぎ世界で 5 都市目であり、誇らしいことではある。

開催決定前から失言を繰り返した東京知事が東電病院からみ? のお金で責任をとり辞任したことは想定外でしたが。

2020 年開催まで 7 年。スポーツ施設や交通機関、サポート事業などの経済効果は数兆円から 150 兆円とも言われる (みずほ銀行、東洋経済社)。東日本大震災復興、原発問題、日中韓関係など国家的、国際的課題を抱え、世界最長寿国の我が国が、アベノミクス効果を持って 2020 年にどのような姿を世界に示すか、大きな機会であり試練であろう。

翻ってわが川西を俯瞰してみると、なんといっても新名神道の開通の早まりであろう。3 年先には高槻と川西が 20 分で結ばれる。運営のまずさから医師の退職が相次ぎ存亡の危機に立たされている市立川西病院を母校が後ろ支えするのに距離的にもしやすくなる。現在、あらたな活力として仁泉会会員が転勤してきて病院の評価を上げつつある。我々開業医にとっても頼りになる市立病院は必要不可欠である。また、不足していた産婦人科、小児科病棟は医局をあげて市内民間病院に新規開設され、市民の安心に多いに貢献している。頼もしい限りである。2020 年には地域医療の向上において仁泉会会員が確固たる地位を占めたいと思う。これに川西市仁泉会は一丸となり応援していきたい。

新年のご挨拶

奈良県支部長
西浦孝彦（学 13 期）

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年も仁泉会の皆様と、又奈良県支部の皆様方のご多幸とご健康を祈念いたします。

昨年 7 月に奈良県支部長を杉原先生（学 12 期）に続いて支部長を仰せつかりました。奈良県支部は 5 期の金沢先生達がこの会を作られて以来、年一回の総会を開き大学の先生方から治療に役立つ講演をお願いしており、年齢差を超えて勉強させていただいております。今後とも宜しく願ひいたします。

奈良県支部も約 90 名の方が会員となっております。会員の方以外にまだ未入会の方や、大学在籍の方も多数おられるようです。

仁泉会の未入会の方の入会を広くお待ちしております。奈良県も南の西吉野～奈良市までかなりの距離がありますが、奈良市で行われる支部総会には遠くからも参加して頂いております。

さて、新聞を読んでいますと昨年は諸国との軋轢が続き、原発問題に秘密保護法案、年末には診療報酬改正及び介護改定の問題と続きましたが本年はどうなるのかと不安もぬぐえません。

一方奈良には円安の影響か外国人観光客の方がかなり増加しており民宿も外国の方がかなり多いようです。奈良県も観光客の収容に苦勞し、種々のイベントを考慮していますが容易ではないようです。

又大新聞の大阪医大の広告も興味深く

読み、若い先生方の話も大変力強く感じています。（私には字が小さいのが難点ですが皆様お読みでしょうか？）

（仁泉会ニュースを読んでいますと、兵庫県支部長 渡辺信治（学 9）、大阪府支部連合会長 佐藤公彦（学 12）、和歌山県支部長 古田浩太郎（学 14）、奈良県支部長 西浦孝彦（学 13）、前広島県支部長 灰塚隆敏（学 23）とあり、前理事長 故檜原敬郎先生の下、サッカー部の汚い部室で共に活動した名前が並んでいます。）

■お知らせ

奈良県支部新役員は、副支部長 尾崎仁一（学 13）副支部長兼本部理事 北浦泰（学 15）本部評議員 柘岡進（学 8）庶務 山田眞一（学 22）庶務 中尾重昭（学 22）会計 山田全啓（学 30）となっております。

新年のご挨拶

和歌山県支部長
古田浩太郎（学 14 期）

2014 年、あけましておめでとうございます。皆様、健やかに正月を迎えられたことと思います。2013 年もまた（敢えて、またと申し上げる）苦難の多い年であったと言えましょうか。うれしい事・楽しいことはかぞえて 3 本の指でもこと足りた。しかし、つらい事・悲しい出来事は足の指を借りてもまだ足りない。人為的な事件・事故も多いが、特に自然災害が多いと同時に、だんだんと大きいものになっている様に思う。今迄、

人間が自然に対して容赦なく「悪さ」を行ってきた事への「しっぺ返し」であることは間違いない。今後、自然を愛し・慈しみ、自然と仲良く、大切にすることで、きっと許されるだろうと考えます。2014 年は平穏で静かな年であることを祈りたい。今までも、私は年の始めに自分に言い聞かせる言葉を作っていた。2014 年の格言として『私は、急がない』にした。

新年の御挨拶

岡山県支部長
水島圭一 (学 29 期)

明けましておめでとうございます。

年末は、新理事の御前治 (みさき おさむ) 先生に岡山まで来ていただき、大学の近況を話していただきました。近いようで遠い岡山ですので、なかなか大学の現状を知ることができません。助かります。

また、大阪医科大学の航空写真を見ながら行われた会食の盛り上がったこと。出席者一同 遠い昔を思い出しながら、この位置に実習棟があった、武道場は..さらには、駅前の雀荘での話題等 尽きることがありませんでした。毎年、こうやって岡山まで来てくださる理事の先生方に感謝です。

昨年 5 月より挑戦しているラジコンヘリの背面飛行。マイクロヘリを使って、芝生の広場で早朝からの練習です。暑い夏も木枯らしの吹く冬も続けてきました。おかげで大きなヘリも背面で飛ばせるようになりました。

ラジコンヘリが好きな理由として、医療にかなり似ており、日々精進したことが結果に出ることです。最近、コンピュータのフライトシミュレーターを使って練習するのですが、実践でかいた汗には負けてしまいます。

「小さなことからコツコツと」をやって、最後には 大空を自由に飛びまわる。地球の重力から放たれたように青い空を飛ぶヘリを見ていると、胸が躍ってきます。今年は、どんなことができるか楽しみです。

年頭のご挨拶

藤本 昭 (学 13 期)

仁泉会の皆様、あけましておめでとうございます。

本来この原稿は、クラス評議員の古賀教一郎君の担当でしたが、昨年来体調を崩されましたので、急遽私が投稿することになりました。

私達の学部 13 期生は昭和 39 年 (1964 年) の卒業で、今年は卒後 50 年になります。私達の卒業の時には、学生運動のはしりのインターン (現在の前期研修とほとんど同じで、1 年間、各科をローテーションしながら実地研修を行い、その後、医師国家試験を受けて医師となった。この間は無給で、健康保険などの身分の保証もなかった。) の生活と身分の保証を求めて、当時、国 (厚生省) 直轄の国立病院でのインターンのボイコットを行った。というのも、法曹界では、司法試験合格後に研修生として実務研修を行う制度があり、この場合には、公費か

ら生活費や交通費が支給され、身分も準国家公務員として扱われ、住居や健康保険証が与えられていた。その後、医学部でも学生運動が活発になり、我が校でも医局解体運動や日本医師会の保険を総辞退などの運動も体験しました。これらの運動はそれなりに共感を得て、現在の世界に冠たる日本の国民皆保険制度ができたものと信じています。

今年からは、TPP やアベノミクスの影響で、消費税の引き上げや、混合診療の導入、医療特区などが行われようとしています。日本の国民であれば、だれでも、どこでも、いつでも平等な医療が受けられる、素晴らしい医療保険制度を堅持したいと願っています。最後に仁泉会の皆様のご健康とご活躍を祈念しまして年頭の挨拶に代えさせていただきます。

卒後 30 年に思う

一般財団法人京都予防医学センター

酒井泰彦 (学 33 期 評議員)

新年あけましておめでとうございます。年末に事務局より「何か一筆を」という連絡があり、今年が卒後 30 年にあたる事に初めて気がつきました。思えば卒業以来、ひたすら目の前の患者さんの診療や業務と向き合ってきて、あっという間の 30 年だったような気がします。しかしこの 30 年間の医学の進歩は目覚ましく、学生時代には禁忌と教わった手技が今では絶対適応となっていたり、夢の治療法と考えられていたものが現実となり、むしろ当たり前の治療法になっていたり、それが年月の流れなのだと思

ためて実感しています。

私は卒業後 20 余年にわたり、循環器の領域で主としてカテーテルを用いた治療に従事し、心筋梗塞や弁膜症、不整脈などの患者さんを数多く診てきました。その中で、「もう数年早く生活の見直しをしていればここまで重症にはならなかったのに」と思う患者さんが大勢いるという事に気付くようになり、出来上がってしまった病気を治療するだけではなく、病気にならないようにする為の啓蒙活動が大切だと考えるようになりました。そんな折、京都予防医学センターで仕事をしないかとのお誘いを受け、9 年前から予防医学の道に入りました。

最近の医療は、悪くなってしまった患者さんの治療に多くのエネルギーを削がれるあまり、事前に病気の芽を摘むという努力が疎かにされているように思います。実際ほとんどの医育機関では、予防医学についての講座は勿論、研修カリキュラムも殆ど無いのが現状ではないでしょうか。私の職場には、大阪医大の他に近隣の 3 大学の先生方にお手伝いに来ていただいています。皆さん初めて来られた当初は一樣に最前線の医療と予防医学との考え方のギャップに戸惑われるようです (私もそうでした)。しかし多くは 1 年 2 年と続けていただくうちに、その匙加減の違いや大切さが判って貰えるようになってきています。「こんな程度で受診の必要は無い」などと言い放つ医者が一人でも減るよう、一般市民のみならず、臨床の先生方にも予防医学的感覚を広めるのが我々の使命ではないかと思

い始めている今日この頃です。

本年もよろしく願い申し上げます。

支部だより

報告 京都仁泉会学術講演会

平成 25 年 11 月 16 日

於：京都ホテルオークラ

先日、11 月 16 日、京都ホテルオークラにて京都仁泉会学術講演会が開かれました。

水谷 均会長の開会の辞のあと、松本恒司先生の司会で始まりました。今回は水谷会長に座長をお願いし、大阪医科大学 生体管理再建医学講座 救急医学教室 教授 高須 朗先生より、「蘇生法としての低体温療法：その可能性と限界」の御講演を賜りました。

今回の講演の内容は大きく分けて 2 つありました。

[1] 救命救急における CPA 蘇生の予後因子として①患者が心肺停止になった際に目撃者がいた② Bystander-CPR をした③心電図波形が確認されている (vf) の 3 点があげられる。それに加えて、脳低体温療法 (Brain hypothermia:BHT) の良い適応として、まず心疾患での CPA であり、ROSC (return of spontaneous circulation: 心拍再開) までの時間が 25 分以内、年齢が 80 歳未満であれば BHT の効果が期待できる。逆に心疾患以外による心停止例や ROSC までの時間が極端に長い場合は BHT の効果は期待できない。

[2] 外傷治療は出血との戦い

Deadly triad: 凝固障害・アシドーシス・低体温の相互作用が生じると致命的



となる。その前に何らかの手当てが必要。DSC (Damage control surgery) は外傷治療の 1 つで重症外傷患者に施行される治療方法。Deadly triad が生じる前が適応。具体的には血液凝固しにくくなったら手遅れ。出血性ショックは低体温療法が有効。Emergency Preserved with Delayed Resuscitation (EPDR) とは、脳をカテーテルで冷やし 2～3 時間心停止させ出血のコントロールを行いその後心肺蘇生し手術に移行する方法だが日本ではまだ臨床応用はされていない。ラットの実験では低体温が血圧を上昇させ輸液量が減りラジカル反応が抑えられるといったデータがあるものの長期的な予後には影響しないといったデータもある。ただ低体温が凝固機能を悪化させるとしても出血量には影響しない。

といった、救急の現場での新たな治療の試みをわかりやすく御講演いただきました。その後の質疑応答もとても活発に行われ講演内容の再確認ができた次第です。

部屋を移動しての懇親会は、水谷会長の御挨拶、そして乾杯に始まり内田先生から仁泉会理事会の活動の御紹介。森本先生から京都仁泉会会報の表紙を田代博

先生の版画にして一新した旨の御報告がありました。和やかな雰囲気の中歓談が続き、富岡先生の御尽力で毎年続いております京都仁泉会の目玉である「音楽の夕べ」は、来年は 8 月 31 日曜日に開催するとの告知がありました。また、前学長の島田先生は、現在亀岡の地域医療に貢献されておられるとのこともお伺いいたしました。

次回講演会は、平成 26 年 2 月 8 日に開催予定と今村先生から御案内があり、松本先生の中締めのお挨拶で開きとなりました。多くの先生方の参加を期待しております。

出席者名 (18 名・敬称略)：内田 實 (学 12) 島田真久 (学 14) 今村喜久子 (学 17) 岡田勝彦 (学 17) 富岡 暉 (学 22) 舟木 亮 (学 22) 田代 博 (学 23) 森本博子 (学 24) 石原 正 (学 25) 松本恒司 (学 26) 水谷 均 (学 26) 蘆田 潔 (学 28) 蘆田ひろみ (学 28) 萩原暢子 (学 28) 林 一資 (学 35) 寺村和久 (学 37) 村上純一 (学 54)

講師：高須 朗 (学 35)

文責 寺村和久 (学 37)

平成 26 年度仁泉会定期評議員会・総会 開催のご案内 (予告)

平成 26 年度の評議員会・総会は下記にて開催致します。今からご予定に加えて頂きますようお願い申し上げます。詳細は紙面にて改めてご案内致します。

記

日時：平成 26 年 5 月 25 日 (日)

2 時から評議員会 3 時から総会 5 時から懇親会

場所：母校 歴史資料館 3 階 懇親会場：母校地下食堂

クラス会だより

平成 25 年度 41 会（学 15 期）同窓会

今年度の 41 会の同窓会は、平成 25 年 11 月 16～17 日、京都の老舗旅館「炭屋」に宿をとり開催いたしました。

はじめに、私たち同期の 16 名の物故者に黙祷をささげたあと、会計報告、会員の近況などを交換し議事を終えました。

懇親会は、美味しい京懐石料理をいただき、艶やかな祇園の芸妓さん舞妓さんの舞いを楽しみ古都京都の風情を堪能しました。

翌朝は、炭屋のご主人に、この旅館のご自慢の茶室の説明を受け、朝食をとった

あと、深まりゆく秋の気配を求めて洛北の岩倉の地へと小型バスを走らせました。

まず、江戸中期に活躍した狩野一派による襖絵をめぐらせた女院御所である実相院の紅葉をめで、「雪の庭」のある妙満寺、さらに、霊峰比叡山を借景にした枯山水水平庭で国の名勝に指定されている圓通寺を訪れました。

昼食は町なかに戻り鞍馬口の黄檗禅宗閑臥庵（かんがあん）で、高タンパクで低カロリーな京懐石普茶料理で、味はもちろん、盛り付けの細やかな美しさもいただきました。

このように二日間の楽しい交流を終えて、来年、藤堂先生の幹事で行われることとなった伊勢志摩（予定）での 41 会にまた集うことを誓い解散しました。

41 会（学 15 期） 勘田紘一



写真 左より 前列 勘田 金子 藤堂 児玉
中列 梶山 阿部
後列 川西 菊田 谷尻 北浦 谷河 尾上 桜井

リレー エッセイ

漢方薬と出会って

住吉・住之江区支部長
霜野良一 (学 28 期)

私は昭和 54 年卒業 (学 28 期) で、平成 12 年より大阪市住吉区にて内科・消化器科を開業しています。また、仁泉会大阪府連の理事や住吉・住之江区支部長を拝命し、微力ながら同窓の先生方のお手伝いをさせて頂いています。今回リレーエッセイを頼まれて何を書こうかと悩みましたが、表題の件で私が経験し、感じたことを書かせてもらうことにしました。漢方薬の効果を初めて知ったのは、平成 3 年神戸労災病院に勤めていたときです。肝硬変の患者さんがよくこむら返りを起こしていたのですが、ある時帰宅の電車内で偶然会った先輩の先生から芍薬甘草湯が良いと言われ、半信半疑で使ったところ 2、3 日でこむら返りを起こさなくなり驚いたのを覚えています。その後は周囲に漢方薬を使う先生もいなくて、殆ど使うことはありませんでした。平成 12 年に開業してまもなくツムラ株式会社の MR さんより、益田総子先生の「不思議に劇的、漢方薬」という本を戴きました。最初は診療の合間にパラパラと眺めていましたが、聞きなれない漢字ばかりの漢方薬が並んでおり、全く馴染めずほったらかしにしていました。1 年程して妻の実家の北九州へいく時、新幹線の中で読む本として退屈なものの方

が眠たくなって良いだろうということでこの本を持って行きました。この本は、漢方薬の理論・効果や処方方法を書いてあるのではなく、著者が悪戦苦闘しながら色々な漢方を使って患者さんの診療をして行く様子を短編小説風に症例報告してあります。読み進めていくうちに、「あれ、こんな症状の患者さんいっぱいおるわ」と気付いたのです。居眠りどころか夢中になって読み耽り、気が付けば小倉駅についていました。そして、これは使ってみる価値があると思い、20～30 年耳鳴りに悩んでいて、何ヶ所もの耳鼻科医院や病院に行っても治らず諦めていた患者さんがおられたので、MR さんに「耳鳴りに効く漢方薬ある？」と聞いてみました。すると、論文を持ってきて牛車腎気丸を紹介され、早速使ったところ 1 週間後には「耳鳴り消えたわ」と言いながらニコニコして来院されました。「本当に消えたの？ 今までも 1 週間ぐらい耳鳴りのない時があって、たまたまじゃないの」と聞いても、「こんなことは初めてでうれしい」と言われ、その後 3 ヶ月程服用されましたが、耳鳴りは生じず薬を中止しても大丈夫でした。誠に不思議な経験で、このことを契機に「漢方薬ってすごい」と思い、「続 不思議に劇的、漢方薬」「やっぱり 劇的、漢方薬」「心に劇的、漢方薬」「女性に劇的、漢方薬①・②・③」と読みました。徐々に薬の種類を増やして使っているうちに、西洋薬では治らないような症状が本当に劇的に短期間で軽快する例を何度も経験しました！。私自身も長年レイノー病で、冬になると指先が真っ白になっていたのですが、一昨年より当帰四逆加呉茱萸

生姜湯（最も長い名前の漢方）を飲み始めてからは 7～8 割軽快して、冬に欠かせないものとなっています。漢方に関しては独学で、講習会や雑誌などで少しずつ知識を得ている状況で、漢方処方に大切な腹診・脈診・舌診などはまだ十分にはできていませんが、問診だけはなるべく丁寧にがまん強くしています。最近は講習会などでも理論から入るのではなく、まず使ってみることが大切だと力説される先生も多くおられます。最新医療からは遠ざかっていますが、漢方薬を併用するようになってからは診療の幅が広がった気がします。また、漢方は知れば知るほど奥が深く、面白いものだと思っています。

（次回は、同期生の板野聡先生にお願いしています。）



会 員 近 況

京都でご活躍中の清水鴻一郎先生（学 22 期）が衆議院議員に繰り上げ当選されたとの一報が届きましたのでご報告いたします。

事務局編集係

維新・清水鴻一郎氏が繰り上げ当選

日本維新の会の東国原英夫衆議院議員が 17 日に議員辞職したことに伴い、医系議員の清水鴻一郎氏が繰り上げ当選することになった。

清水氏は脳神経外科医で 1973 年大阪医大卒。同大助教授、清水病院院長を経て京都伏見しみず病院理事長。京都府議会議員を 4 期務め、2005 年衆議院議員に初当選。昨年の衆院選では、維新の比例代表近畿ブロックの比例名簿で次点だった。67 歳。

新聞・冊子切り抜き

日本医事新報 No.4680 に掲載されました本学学長 竹中 洋先生（学23期）の

記事をご紹介します（2014年1月4日発刊）。事務局編集係

炉辺閑話

ろへんかんわ 2014

4代の耳鼻咽喉科

大阪医科大学学長 竹中 洋



医学が医療と不離付則であることは、案外理解されていないようである。同様に、大学人（教員）が教育と研究に加えて診療をするのか、教育、診療に加えて研究をするのか、診療に加えて教育し研究をするのか、医学部の考え方は定まっていない。歴史的には医療（医行為）があり、整理され抽出された技術と技術に伴う科学的な根拠が医学として形作られたと考えられている。そもそも医療を提供する人たちを除いて医学が始まることはなかった。

しかし、大学が知の集合体として認知されると、教育と研究あるいは研究が医学の中心課題として捉えられるようになった。わが国では、教育は優秀な医学生が努力するプロセスと位置づけられ、永く研究至上主義的な時代が続いていた。ようやくここに来て「医学教育」が課題として取り上げられ、基準化・国際評価が叫ばれている。研究も実地臨床に即応した臨床研究が重要性を認められるようになった。

ところで、わが家は母方の祖父が20世紀初頭に京都で何人目かの耳鼻咽喉科医になっ

て以来、父も耳鼻科咽喉科医、かくいう私もそれで、長女も同じ道を辿ることになった。近代医学4代120年以上同じ専門性を専攻している珍しい家族である。最近、祖父の大学時代のノートを見ていると、この分野での手術や治療概念はあまり変わっていないように思う。彼は開業医として手術を行い、市民の負託に応えていた。父は大学生活が長く、55歳で祖父の診療所を継いだ。電子顕微鏡等の研究を語る時に目が輝いていた。実験用のウサギやイヌがわが家に共同生活していた時代が懐かしい。私は臨床が大好きであるが、気がつけば大学人としてそろそろ卒業の時期に来ている。娘は根っからの臨床家で、手術が大好きな様子伺える。4代にして先祖帰りが起こる可能性は高い。

時代と環境は大きく異なるものの、医師の道は魅力的である。どのような困難であろうと、「ありがとうございました」と感謝された瞬間に苦勞を忘れることができる。楽観論ではあるが、孫にもこの道を視野に入れてほしいと願っている。家業としての医業も捨てたものではないように思える。

2013 年 12 月 17 日（火）付
毎日新聞朝刊に掲載されまし
た川崎康寛先生（学 35 期）
の記事をご紹介させていただきます。

全国各地の新聞・冊子等に
卒業生に関する記事が掲載さ
れました節には、新聞・冊子
等原本（印刷手続き後お返し
します）並びに原稿等を事務
局宛にお送りくだされば幸甚
に存じます。

事務局編集係



毎 日 新 聞
大 阪 2013 年（平成 25 年）12 月 17 日（火）
川崎こどもクリニック院長 川崎康寛さん＝貝塚市

小児科受診時の持ちもの

子どもさんが医療機関を受診する際、何を持って行かれますか。健康保険証、各種の医療証は当然ですね。子どもが小さければ、おむつや服の替えも持って行きたいものです。それ以外に持って行くべきものは、「いろいろな情報」です。いつから熱が出ているのか、せきが出るのか、お母さんのメモが診療の参考になることが多々あります。また、他の医療機関で処方されている薬の内容を書いた紙やお薬手帳も参考になります。「百聞は一見にしかず」と言うとおり、実際に出た便を持って行けば検査に回すことも可能です。誤飲の場合も、飲み込んだものと同じも

今どきの携帯電話活用術



の場、不十分なこともあります。一方、持って行けないものや、受診時には治まってしまっている症状もあります。例えば、風邪上がりにだけ目立つ発熱、夜間にだけ出る変なせき、ケイレンを疑わせる変な動作など。お母さんが診察室で医師に一生懸命説明しても、伝わらないことが、画像や音声があれば一発で伝わる可能性があります。今や携帯電話やスマートフォンで簡単に写真や動画が撮れます。医師、音声の記録もできます。機器自体がコンパクトですし、すぐに再生でき、撮り直しも容易です。条件を変えて何枚撮っても、お金がかからないでもありません。何しろ最近のお母さんのポケットかバッグには必ず入っているのが強みです。文明の利器をご自身のお子さんの診療に役立てることも考えてみてください。

（府医師会広報委員会委員）

仁泉ひろば

先達の女医 (2)

学 4 期 西村 保

国試第 1 号の女医 荻野吟子

吟子（幼名ぎん）は嘉永 4 年（1851 年）現在の埼玉県熊谷市で生まれた。荻野家は代々庄屋を勤めた家柄で、吟子は恵まれた環境の中で育った。

吟子は生まれつき聡明で書物好きだった。しかし「女に学問は要らない」と言う当時の風潮の中で、父親はそんな吟子を心配して慶応 3 年（1867 年）吟子を近くの村の名主の長男稲村貫一郎に嫁がせた。吟子 16 歳の時である。ところがこの男がひどい道楽息子で、吟子は悪質の淋病をうつされ、痛みと排膿に苦しめられた。吟子は家の中で口をきくこともなくなり、涙ぐむ日々を送っていた。そんな吟子を婚家先は離縁してしまった。嫁して 2 年、吟子 18 歳の時であった。こうして実家に帰った吟子は、田舎ではどうすることも出来ない難病の淋病を治すべく、上京して順天堂医院に入院した。しかし当時の医師は全て男性だったから、治療とは云いながら異性に下半身を曝す屈辱に身を縮めた。吟子が医師になることを決意したのはこの時である。同じ思いの女性患者を救いたい一心であった。

こうして 2 年間の闘病生活で、さしもの難病であった淋病も、ほぼ治癒したので吟子は一旦実家にもどった。

この間に世は明治となり、僅かながら

も女子にも教育が必要だとの機運が兆してきたのを察した吟子は、再度上京して漢方医の井上頼罔に入門し、基礎的な医学を学んだ。吟子 23 歳の時である。翌年、東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）の 1 期生として入学し、4 年後に主席で卒業した。吟子は学校に残って教壇に立つ道を勧められたが、どうしても医師になりたい気持ちが強かった。そんな吟子の希望を聞いた学校の永井久一郎教授は、当時の石黒軍医総監を紹介してくれた。その口添えで、当時唯一の私立医学校であった好寿院に入学し、3 年後の明治 12 年に優秀な成績で卒業した。

ところが医師になるには医術開業試験に合格しなければならないが、受験資格は男子に限られていたので、吟子は代診をしながら数年間は足踏み状態であったが、ようやく明治 17 年（1884 年）になって女子にも門戸が開かれた。そして前期と後期に分かれた試験に合格し、吟子は晴れて近代日本最初の女医となった。吟子 34 歳の時である。長年の夢がかなった吟子は、本郷の湯島で産婦人科、内科を標榜する荻野医院を開業した。吟子は一躍「時の人」になった。新聞や雑誌が「女医第 1 号」として持て囃したせいもあって連日患者が押しかけた。間もなく医院は手狭となったので下谷の西黒門町に移転した。同時に明治女学院から請われて生理衛生の講師になったり、日本キリスト教婦人矯風会の会長に迎えられ、廃娼運動に取り組んだりしたので、ひとかどの女流名士として活躍した。

こうして吟子の存在は華やかな光彩に包まれ、その後半生は社会的にも個人的にも恵まれた日々が約束されていた。

吟子が 40 歳になった時、14 歳年下の牧師志方行善と知り合い、長年埋もれていた吟子の、女としての情念の火が点いた。吟子は周囲の猛反対にめげず結婚した。そして北海道で荒野を開拓しながら伝道に生きようという夫に共感し（吟子も洗礼を受けていた）すべてを整理して夫と共に北海道に渡った。しかし夫の試みはことごとく挫折し、その無理がたたって病死してしまった。吟子は亡き夫を偲びながらこの地に留まることを決意し、小さな医院を開設したが、患者は稀にしか来なかった。医療保険も無かった当時、辺境に住む人々は貧しくて医者にかかるような生活環境ではなかったのである。そして追われるようにして明治 41 年秋、東京に戻ってきた。この時吟子は既に 58 歳になっていた。人生 50 年と云われていた当時では老齢と云っている年齢であった。それでも本所で医院を開設したが、ここでも患者は稀にしかこなかった。時の流れは早く、東京には吉岡弥生が創設した女子医専を卒業した女医達が華々しい脚光を浴びていたのである。吟子は今更ながら 18 年の空白を痛感した。

このように吟子の晩年は孤独だった。そして大正 2 年（1912 年）62 歳で世を去った。詳しい死因は不明である。

女としての吟子の一生を振り返れば、若い頃の屈辱と苦痛から男を寄せつけず、女医として懸命に生きて一定の成功を収めたが、40 歳の時、一人の女として愛する夫と共に僻地で生きようとした。しかし、その夫が死んでからは、抜け殻のようになった人生であった。まさに女の業（ごう）とも云うべきであろう。

残り物

ぼん太（学 31 期）



本部だより

編集後記

お詫び

仁泉会ニュース第44巻10号9頁の塘 二郎先生（学6期）ご投稿記事「平成25年度親酉会総会（学6期）」につきまして、第44巻9号に掲載させていただく予定でしたが、事務局の不手際で1カ月遅れの掲載となりました。大変申し訳ございませんでした。塘先生はじめ学6期の諸先生方に誌面をお借りしまして深くお詫び申し上げます。

事務局編集係



明けましておめでとうございます。会員諸兄姉にはどのような新年をお迎えになられたでしょうか。

さて、お気づきでしょうか。前々号よりリレーエッセイという企画をスタートさせております。第1回は内田実先生（学12期）、2回目は安藤嗣彦先生（学20期）と仁泉会両副理事長に執筆していただきました。今回は役員以外として霜野良一先生（学28期）にお願いし寄稿頂きました。

リレーエッセイとは執筆頂いた先生から次の同窓を指名していただき、次々につなげてゆこうというものです。目次をみて、「お、同期の〇〇がなんか書いとるわ」、「〇〇先生か、懐かしいな」などと思ってくださり、仁泉会ニュースにさらに親しみを持っていただければと思っております。当面は隔号で、役員と一般会員の二つのラインでお願いする予定にしております。先生方のところに依頼がございましたら、作文は苦手などと思わず、嫌がらずにぜひ寄稿くださいますようお願いいたします。

本年も仁泉会ニュースをよろしく願い申し上げます。（治）

仁泉会年会費 納入のお願い

| | | |
|-----|--------|---------|
| 年会費 | 平成25年度 | 10,000円 |
| | 平成24年度 | 10,000円 |
| | 平成23年度 | 10,000円 |

まだ、お納めになっておられない会員先生には、納入のご協力をお願いいたします。

事務局 会計係

大阪府の保健所や本庁で勤務する 公衆衛生医師を募集中！

(専門分野や勤務経験は問いません)

勤務場所、職務内容

大阪府内の保健所や本庁等に勤務していただきます。

【保健所における主な医師業務】

- 感染症から府民を守り、府民の健康づくりを支援
- 未熟児や難病患者さんを支援
- 地域の医療機関の安全安心を確保
- 疫学調査を行い、地域の健康課題を把握・対応

【本庁における主な医師業務】

- 府民の信頼に応える救急医療システムづくり
- がん・生活習慣病から府民を守る政策の推進
- 広域における感染症対策の実施

※府保健所の所在地は **大阪府保健所** で

検索

すべてが最寄駅から徒歩圏内で、通勤に便利！！

勤務条件・研修など

- 年収 30 歳 約 870 万円
40 歳 約 1260 万円
- 勤務時間 原則 9:00～17:30(休憩 45 分)
土・日・祝日、年末年始は休み
- 休暇など 年次休暇(20 日、1 時間単位で取得可)、
特別休暇(夏期、産前産後、育児時間)、
介護休暇、育児休業
- 主な研修 ○ 医療機関・大学等での現任研修
府立病院機構の各病院、大阪大学大学院など
○ 最新トピックスをテーマとした業務研修
* これらの研修には職務として参加でき、
個人の負担はありません。
- 応募資格 64 歳以下で、医師免許を有する人

勤務医師の声

- 年次(有給)休暇は 1 時間単位で取れるので、急な用事にも必要な時間分だけ取得できるのがいい。
- 業務研修など研修体制が充実しているのがいい。
- 公衆衛生医師として勤務しながら医療機関等での臨床現場経験も積めるのがいい。

POINT

働きやすい職場です。
(勤務する医師の約 2 割が女性)

中途採用や、出産、子育てによるフランクも研修でしっかりサポート！！

臨床から転職した医師も複数います！



大阪府健康医療部 健康医療総務課 人事グループ
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 電話 06-6944-7257 (直通)
電子メール kenisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp
大阪府ホームページ【大阪府公衆衛生医師職員採用ガイド】
<http://www.pref.osaka.jp/chikikansen/kousyueiseishi/index.html>

または

大阪府公衆衛生医師

検索

医 師 募 集

医療法人 旭会

園田病院

常勤内科医師・非常勤
内科医師募集中



園田病院では地域の基幹病院との連携を強化し脳血管疾患の後遺症や神経難病の患者さんを積極的に受け入れリハビリテーションにより患者さんの在宅復帰を目指します。また、在宅療養支援病院として癌をはじめとする在宅患者の診療に取り組んでいます。

※園田病院の主な施設基準等

- 病床数 医療療養病床84床(療養病床入院基本料Ⅰ)
- がん治療連携指導料(胃癌・大腸癌・乳癌・肺癌・肝癌) ○ 在宅療養支援病院
- リハビリ(脳血管等Ⅱ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ)

関連施設:そのだ介護老人保健施設、そのだ訪問看護ステーション
そのだケアプランセンター

医療法人 旭会 理事長 赤松 久司(学31期)

医師求人連絡先
〒661-0953
尼崎市東園田町2-48-7
医療法人旭会 園田病院
TEL 06-6491-9521 担当:畑林



“大阪医科大学関係者の皆様”へ

FELICE で

フェリーチェ

理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線で活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。

万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出会い」をあなたに。

<成婚事例>

| 男 性 | | 女 性 | |
|--------------|----|--------------|-------|
| 31歳 大阪市立大学 | 医師 | 28歳 京都府立医科大学 | 医師 |
| 33歳 大阪医科大学 | 医師 | 27歳 神戸薬科大学 | 薬剤師 |
| 34歳 慶應義塾大学 | 医師 | 26歳 神戸学院大学 | 英語教師 |
| 36歳 神戸大学 | 医師 | 33歳 関西医科大学 | 医師 |
| 38歳 京都府立医科大学 | 医師 | 29歳 近畿大学 | 会社員 |
| 37歳 愛知医科大学 | 医師 | 31歳 同志社大学 | 客室乗務員 |
| 41歳 関西医科大学 | 医師 | 33歳 京都女子短期大学 | 会社員 |
| 38歳 大阪大学 | 医師 | 32歳 兵庫医科大学 | 医師 |
| 37歳 近畿大学 | 医師 | 29歳 大阪医科大学 | 医師 |

大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、最適なお相手をご紹介いたします。

●入会資格

◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師

◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上

男女ともに結婚をお考えの独身者の方

※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 www.felice.cc

フェリーチェ

検索

※「フェリーチェ」で検索してください。

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

フェリーチェはおかげさまで **創立11周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容的確さ」「スタッフのサポート体制」など11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オリコン株式会社調べ) との評価をいただきました。

今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

無料 親御様向け説明会のご案内

●開催日時：2月4日(火)、6日(木)、7日(金)、10日(月)、13日(木)、17日(月)、18日(火)

●会場：芦屋ラウンジ・銀座ラウンジ

●専用ダイヤル：芦屋 0797-25-1076 / 銀座 03-6228-5720 (10:00～20:00、水曜定休日)

毎月1300件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com



結婚相手紹介サービス業認証機構より適正なサービス事業者として認証付与を受けています。



経済産業大臣認定「認定個人情報保護団体」対象事業者

個人情報管理・プライバシー保護には細心の注意を払っています。

芦屋ラウンジ 〒659-0068 兵庫県芦屋市業平町16-16 芦屋フルファーズ4F 梅田ラウンジ 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル11F 銀座ラウンジ 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F

対応は
もうお済み
ですか？

緊急対策

相続税が大幅に増税されます！

1 節税対策【無駄なく】

現金・預金で資産をお持ちの方については、**重い相続負担を軽減**するためのたくさん方法があります。土地評価については、**個別事業や法律上の制約を丹念に拾い上げ**反映させることによって、評価を減額できる場合は少なくありません。**最も無駄のない節税対策**を提案いたします。

2 納税資金対策【手堅く】

株や**生命保険**を使って、相続税を納めるための資金を**計画的に確保**し、相続人が重要な事業用資産やお住まいを**失うことのないよう**に提案いたします。

3 遺産分割対策【円滑に】

相続対策はできれば**生前から計画的**にしたいもの。実際の相続が始まってからの申告・納税作業が適切に行われなければなりません。生前の相続対策は親中心に行いますが、**申告のときには相続人である子ども**が行います。「そのとき」が来てからあわてないように、私たちが親と子の間に入って**スムーズな継承**を行います。

4 資産活用対策【資産の継承】

資産の種類も様々なものがあり、運用方法も種類によって様々です。

- ①**生命保険**で万が一に備える。
- ②銀行預金・郵便貯金などの**貯蓄**。
- ③賃貸住宅経営等の**資産活用**による節税。

初回の
相談は
無料です

創業37年の、 安心。

相続税についての疑問や不安をお持ちの皆様。
税金のプロ、資産活用サポートのプロである
我々にぜひおまかせください！

谷丸会計事務所 0120-86-25-86

※繋がらない場合は 072-678-1251 ※受付時間 / 9:00~19:00

大阪事務所 / 大阪市北区天神橋 2-4-17 千代田第一ビル 7F
TEL 06-6949-8152

高槻事務所 / 高槻市芝生町 1-14-2 TEL 072-678-1251

web/<http://tanimaru.jp>

mail/tax@tanimaru.jp